

快洗 F I T - S

型式 QW-3300

取扱説明書

⚠ 注意

使用前に必ずお読み下さい。

J4012040A

(c) KeePer Giken. All Rights Reserved.

はじめに

このたびは「快洗FIT-S 型式:QW-3300」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用下さい。

○お客様へのお願い

- この製品には保証書が添付されています。
製品のお受け取り時には、販売店による記入事項をご確認のうえ、取扱説明書とともに大切に保管して下さい。
- 取扱説明書は製品の一部分です。
この取扱説明書は、必ず所定の位置に保管し、必要なときに読めるようにして下さい。
不明な点があるときは、まず本書を読み返して下さい。
本書を紛失、汚損した場合には、販売店までご連絡下さい。
- 取扱説明書が現品と異なる場合は、お買い上げの販売店までご請求下さい。
- 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

○本書中の表示について

この取扱説明書では、誤った取扱いによる事故を未然に防止するため、以下のマークをつけて注意事項や補足事項を表示しています。

⚠ 危険 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫ることが想定されます。

⚠ 警告 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
また、人が傷害を負う危険や、物的損害を被ることが想定されます。

⚠ 注意 誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険や、物的損害を被ることが想定されます。

目次

1. 取扱い上の注意	1
2. 安全ラベルの取り扱い	2
3. 付属品	2
4. 各部の名称	3
5. 運転前の準備（組立手順）	4
5-1 本体の組立	4
5-2 水・電源の接続	5
5-3 水フィルターの通水	6
5-4 アクアキーパーキットの通水	6
6. 使用方法	7
6-1 操作スイッチ	7
6-2 アクアキーパーガンの使用方法	7
6-3 高圧ポンプのエアー抜き	7
6-4 凍結の恐れがある場合	8
7. 日常管理	9
7-1 始業点検	9
7-2 終業時の処置	9
8. 保守・点検	10
8-1 オイルの交換	10
8-2 水供給ジョイントフィルターの清掃	10
8-3 水フィルターの清掃	10
9. 故障かな？と思ったら	11
10. 消耗部品について	11
11. 主要諸元	12
12. 製品品質保証規定	13
付表	保守・点検管理表

1. 取扱い上の注意

⚠ 危険

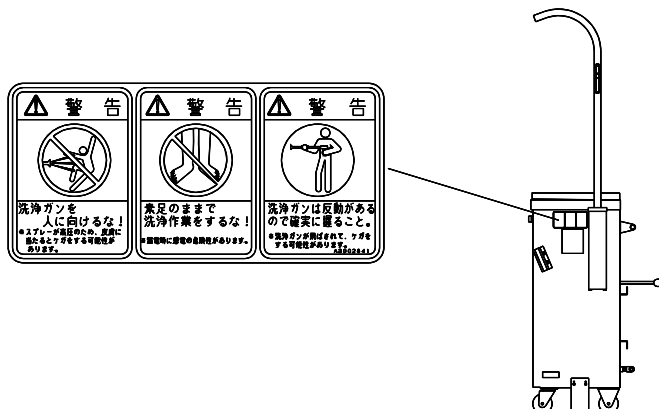
- ・本機が接続される電源には感電防止用漏電遮断器を設置して下さい。
また本機は必ず接地(アース)を行って下さい。
- ・接地工事や漏電遮断器の取付は電気工事店にお願いして下さい。

⚠ 警告

- ・取扱説明書をよく読んで正しい取り扱いをし、安全に作業して下さい。
- ・正しい取扱いを十分知らない人、正しい操作ができない人には絶対に本機を使用させないで下さい。
- ・作業を行う場合は作業に適した保護具(ヘルメット、合羽、保護メガネまたは保護面、防水長靴、手袋)を必ず使用し、適正な服装で行って下さい。
- ・感電事故防止のため、絶対に裸足で作業しないで下さい。
- ・本機の点検整備及び修理は電源コードのプラグをコンセントから抜いて行って下さい。
電源が接続されたままですと事故の原因となります。
- ・作業場所には関係者以外立入禁止にして下さい。子供を近づけると事故の原因となります。
- ・電源コードをつかんで本機を移動させないで下さい。
コードの断線、短絡(ショート)の原因となります。また、コードに刃物類、高熱のものなどが触れたり、重量物を落下させたりしないよう注意して下さい。
- ・コードが損傷した場合は直ちに作業を中止し、新しいものと交換して下さい。
電源コードの交換は販売店にお願いして下さい。
- ・製品の改造は絶対にしないで下さい。製品本来の性能が発揮できなくなり非常に危険です。
部品の交換をする場合は、必ず指定の純正部品を使用して正規の位置に確実に取り付けて下さい。
- ・ノズルは絶対に人や生物に向けないで下さい。噴流の中に不用意に手足を入れしないで下さい。
負傷する場合があります。
- ・洗浄ガンは確実に握って下さい。反動が強いため、洗浄ガンが飛ばされてケガをする可能性があります。
- ・運転直後のポンプ、ポンプオイル、モーターは高温になります。
点検、オイル交換等を行うときは十分冷えてから行って下さい。火傷の原因になります。

2. 安全ラベルの取り扱い

本機には下記の警告ラベルが貼り付けてあります。



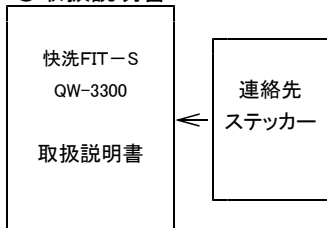
警告

警告ラベルは大切に扱って下さい。

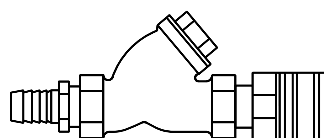
汚れたりはがれたりした場合はすみやかに販売店より購入の上、正しく貼り付けて下さい。

3. 付属品

○取扱説明書

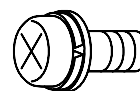


○水供給ジョイント(X1)

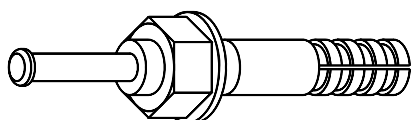


○座金組みなべ小ねじ M4X10(X2)

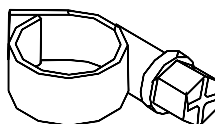
○座金組みなべ小ねじ M4X6(X1)



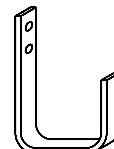
○ハイアンカーボルト(X2)



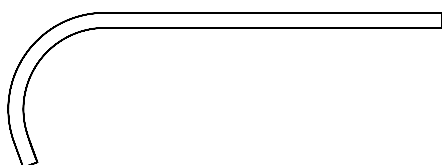
○ホースバンド(X4)



○ホースカケ(X1)

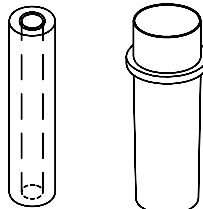


○ブーム(X1)

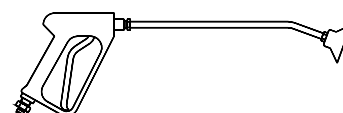


○水フィルターカートリッジ(X1)

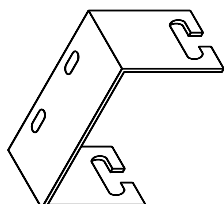
○水フィルターハウジング(X1)



○アクアキーパーガン(X1)



○ガンホルダー



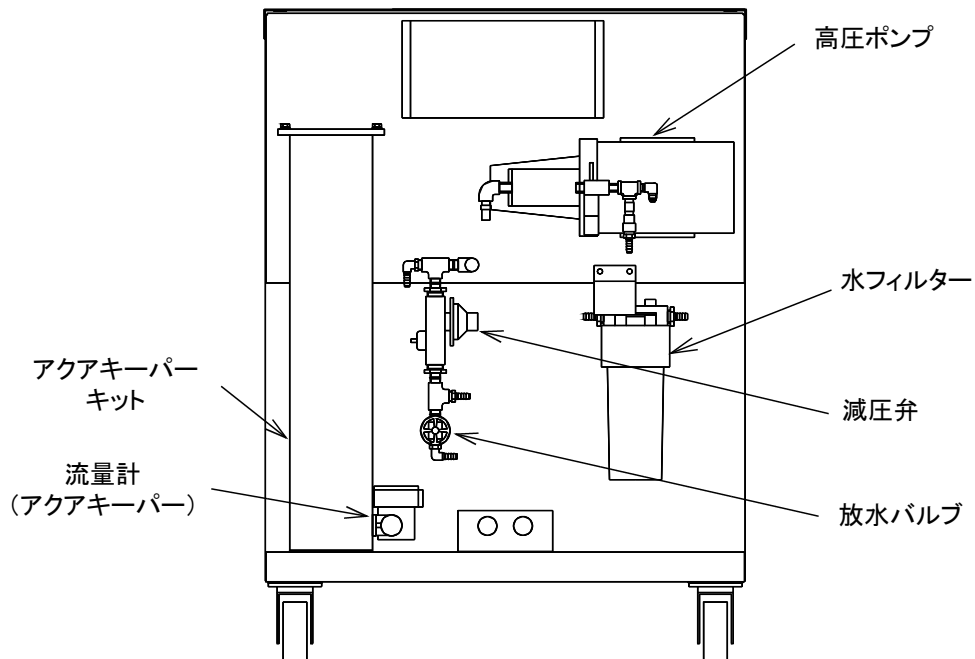
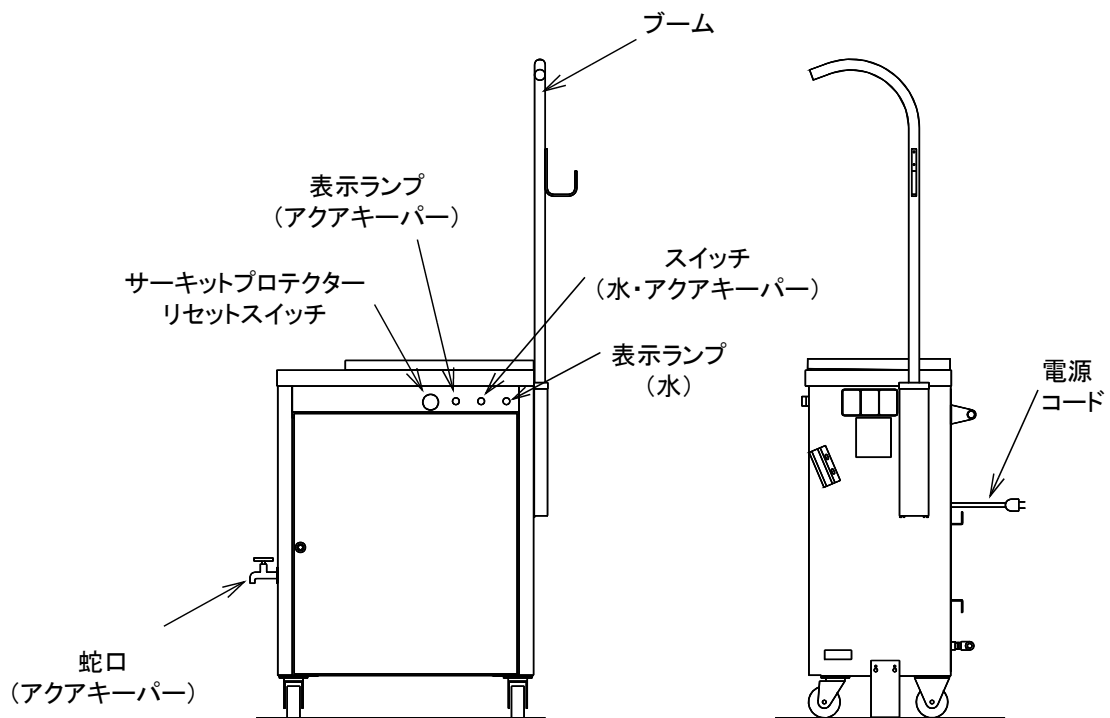
○座金組みなべ小ねじ M5X16(X2)



○六角ナット M5(X2)



4. 各部の名称



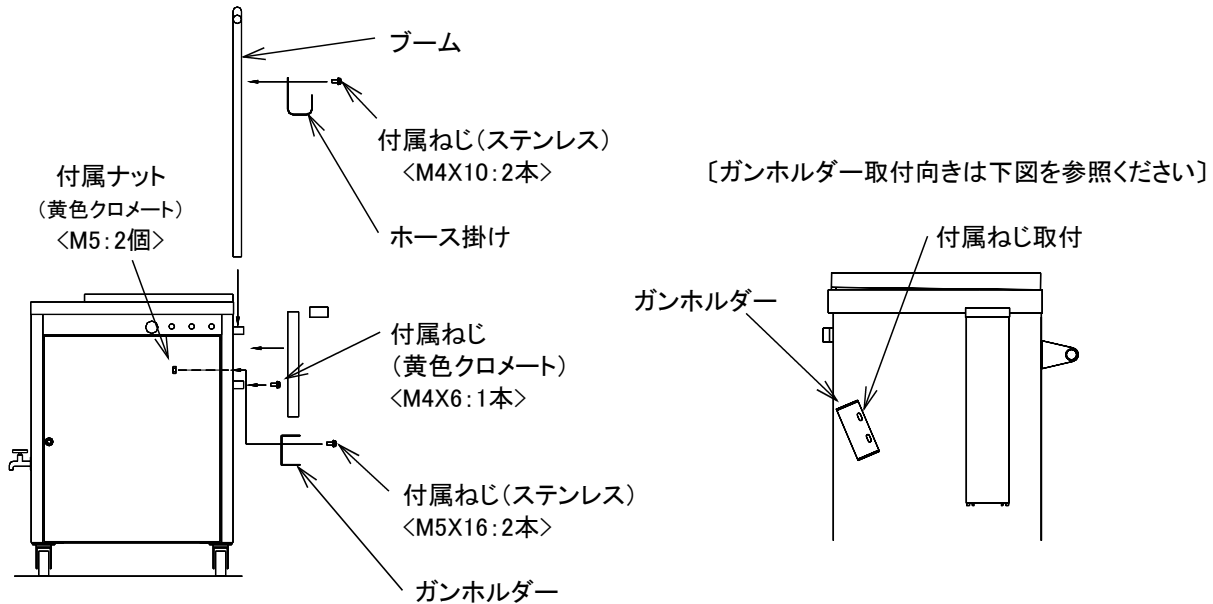
5. 運転前の準備(組立手順)

設置店様でご準備いただくもの

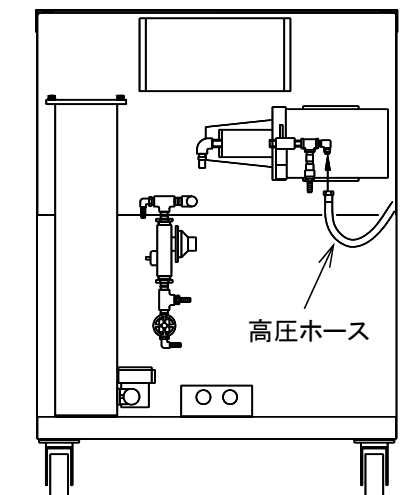
- ①水道ホース(内径φ15mm)
- ②必要に応じて延長コード(導体公称断面積3.5mm²以上、長さは15m以下)

5-1. 本体の組立

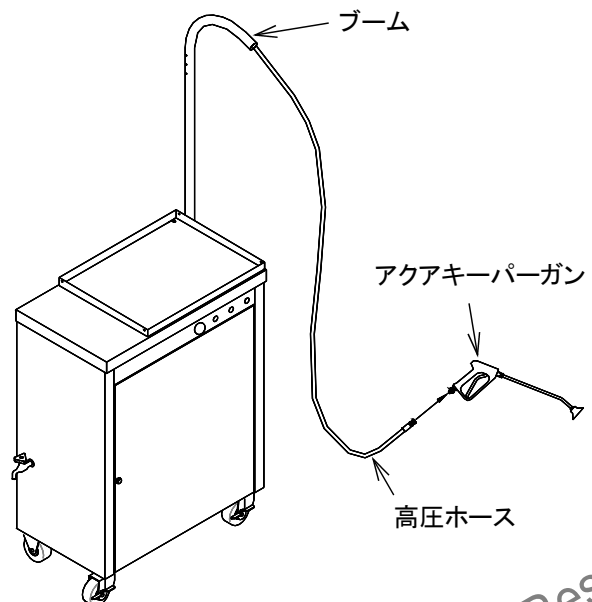
1. 機器を開梱し、ブーム、ホース掛けを取り付けます。



2. 高圧ホースを接続します。

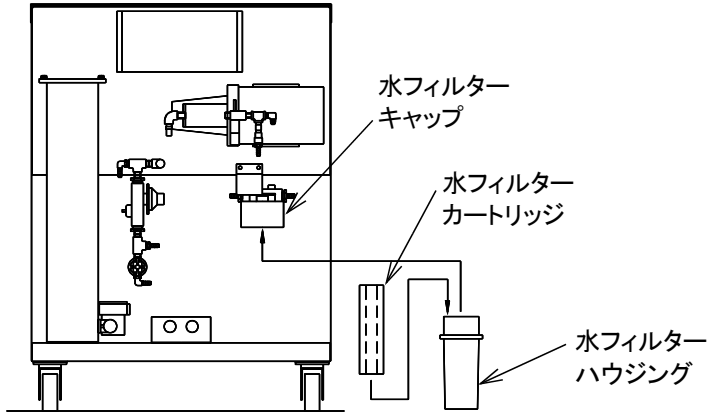


3. アクアキーパーガンを取付けます。



4. 水フィルターカートリッジ、ハウジングを取り付けます。

- 1) カートリッジをハウジング下部突起部に差し込んでください。
- 2) 次に右回しでゆっくりキャップにねじ込んでいきます。
- 3) 固定するまで締め付けた後、半周ほど容器を左回し(緩める方向)に戻してください。
- 4) 強く締めすぎて長時間運転しますとカートリッジの膨張でキャップやハウジングの破損の恐れがあります。



⚠ 注意

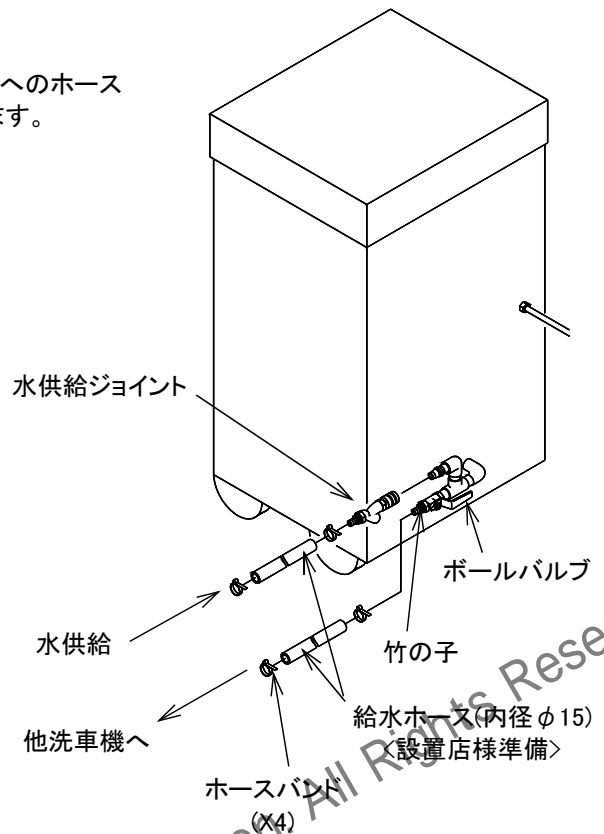
ハウジングをキャップに取り付ける際は工具を使わず、手でねじ込み軽く締め付けてください。

5-2. 水・電源の接続

1. 水供給ジョイントに15mm内径のホースを取り付け給水口に接続します。
他の洗濯機と水供給経路を併用する場合は、他洗濯機へのホース(15mm内径)を竹の子に取り付けボールバルブを開きます。
2. 100Vコンセント(15A以上)に電源コードを接続します。

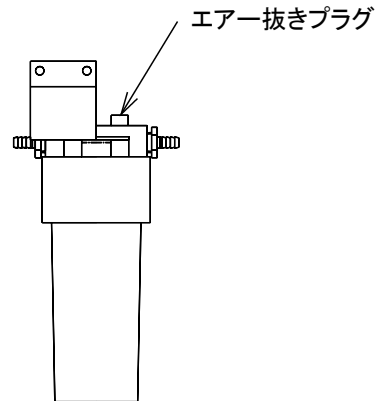
⚠ 注意

- ・電源コードはかならず100Vコンセント(15A以上)に接続して下さい。
- ・延長コード、たこ足配線などで接続すると高圧での洗浄が行えません。
- ・運転時の電源電圧が95V以下になると停止する場合がありますので、運転時の電源電圧は確実に「95V」以上にして下さい。[他の機器と同じ電源を使用している場合他の機器が作動すると電圧が一時的に下がる事がありますのでご注意下さい。]
- ・電源線の延長コードは、導体公称断面積3.5mm²以上長さは15m以下で使用して下さい。リールの場合、電圧低下するため巻いたままでの使用は避けて下さい。
- ・濡れた手でコンセントを触らないで下さい。
- ・コンセント接続部などを水で濡らさないで下さい。



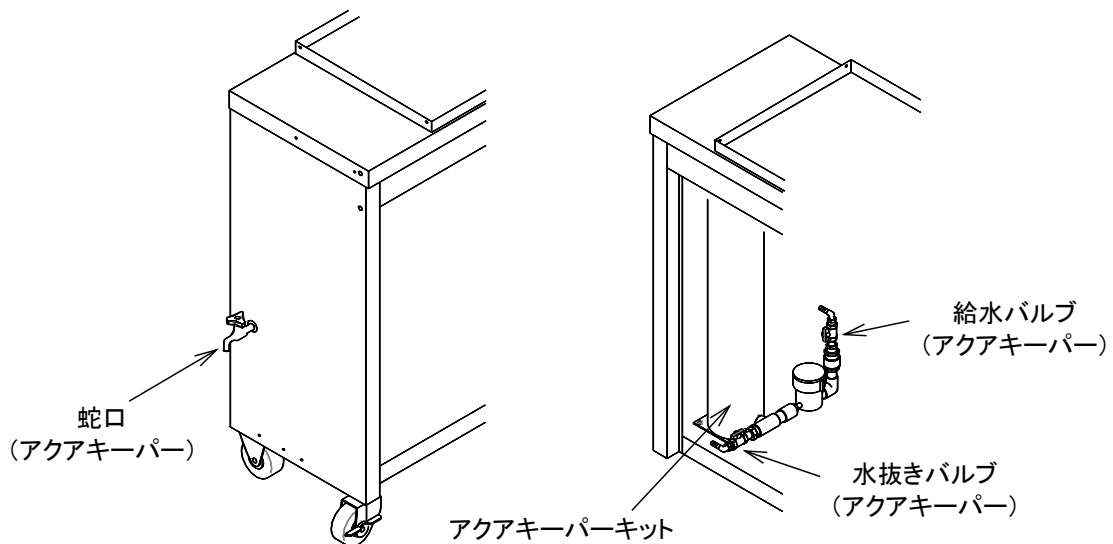
5-3. 水フィルターの通水

1. キャップの上部のエア抜きプラグをゆるめ、少しずつ水を通し容器内のエアを抜きます。
2. 容器内のエアを充分抜いた後、エア抜きプラグをしっかり手で締めます。
(工具は使用しないでください。エア抜きプラグの破損の恐れがあります。)
3. エア抜きが済みしだい、本体内部配管へ通水して下さい。



5-4. アクアキーパーキットの通水

1. 水抜きバルブ(アクアキーパー)を閉じます。
2. 給水バルブ(アクアキーパー)を開きます。
3. 蛇口(アクアキーパー)を全開にします。
4. 蛇口から水が出てきたら蛇口を閉めます。



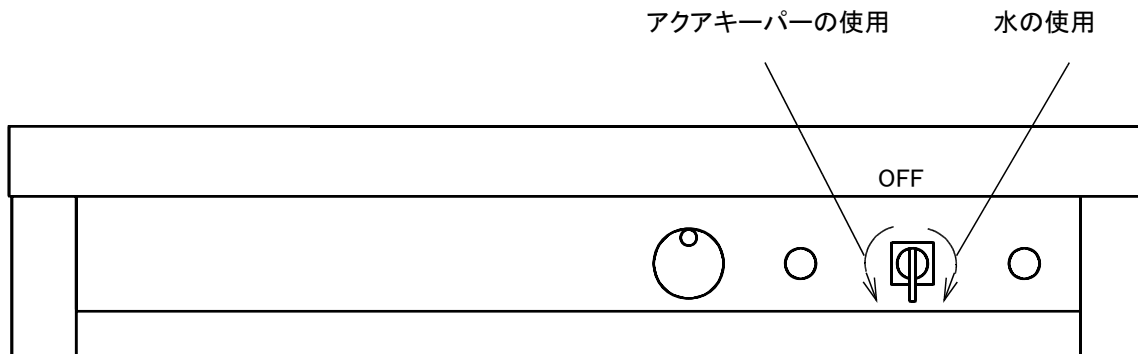
⚠ 注意

アクアキーパーキットの通水をせずスイッチをアクアキーパーの位置にすると高圧ポンプパッキンを破損する恐れがあります。

6. 使用方法

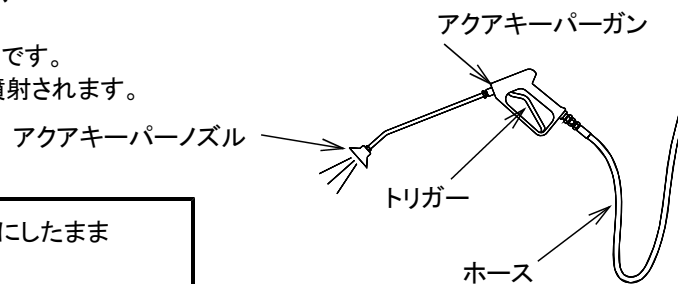
6-1. 操作スイッチ

■スイッチを下図の位置にすると、水・アクアキーパーが吐出されます



6-2. アクアキーパーガンの使用方法

■アクアキーパーガンはストップ機能付きのガンです。
ガンのトリガーを引くと水・アクアキーパーが噴射されます。



⚠ 注意

スイッチを水もしくはアクアキーパーの位置にしたまま
連続5分以上放置しないで下さい。
ポンプ故障の原因となります。

⚠ 注意

スイッチをOFFにした後は、トリガーを引き、ホース内の残圧を抜いて下さい。
ホース内に残圧があると凍結対策用放水ができません。

⚠ 警告

ノズル先をのぞきこまないで下さい。
ノズル先を人や生物に向けしないで下さい。
噴流の中に手足を入れしないで下さい。

6-3. 高圧ポンプのエア抜き

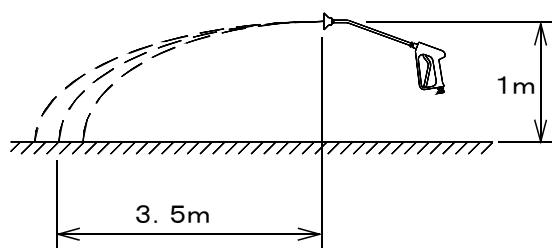
ノズルをはじめて使用する場合は、ポンプのエア抜きを行って下さい。
ガンのトリガーを引いたままスイッチを5秒ほど水の位置にしポンプを動かした後、OFFにします。
この操作を数回繰り返し、圧力が安定すればエア抜き終了です。

6-4. 凍結の恐れがある場合

1. オプション設定されている耐寒キットを取り付け、本体内部を保温して下さい。
(終業後も凍結の恐れがある場合は、電源を切らずに本体内部を保温して下さい。)
2. 本体内部の放水バルブを右に回し、ノズルの先端より放水させます。
(1分間に各600cc程度が適量です。)

[600ccの目安]

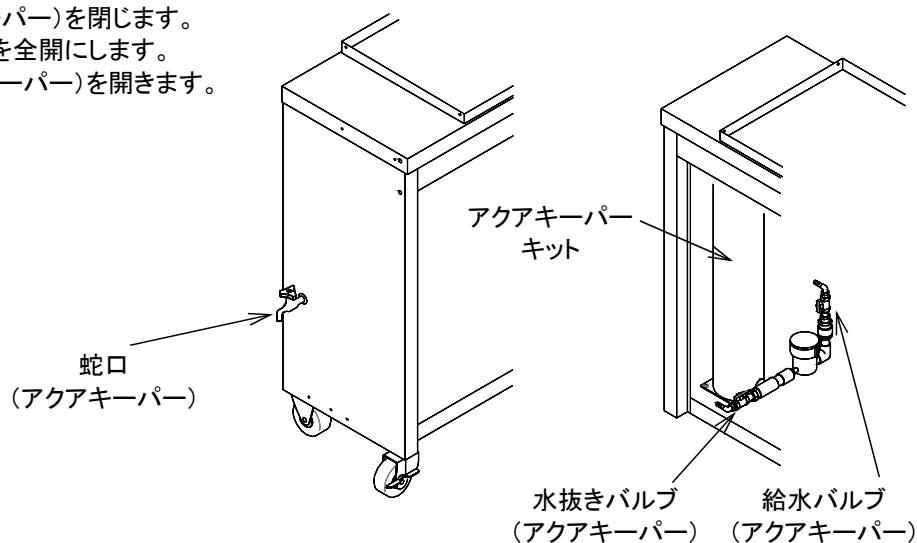
ノズルを1mの高さで水平向きにした場合、600ccの放水量では下図のような噴射となります。



3. アクアキーパーキットの水抜きをして下さい。

[水抜き要領]

- ① 給水バルブ(アクアキーパー)を閉じます。
- ② 蛇口(アクアキーパー)を全開にします。
- ③ 水抜きバルブ(アクアキーパー)を開きます。



⚠ 注意

水抜き後、アクアキーパーを使用する際は、(5-4アクアキーパーキットの通水)を参照し、キットの通水を行ってから、スイッチを操作して下さい。

7. 日常管理

7-1 始業点検

洗浄作業前に必ず始業点検を行って下さい。

1. 給水の確認
2. 周囲の清掃と安全確認
3. 電源の投入

7-2 終業時の処置

一日の営業が終わったら、電源コードをコンセントからはずして下さい。

■凍結の恐れがあるときは・・・

- ・本体を凍結の恐れのない場所に移動して下さい。
 - ・凍結の恐れのない場所への移動が困難な場合は((6-4項. 凍結の恐れがある場合))を参照し機内の凍結防止を行って下さい。
- また、その際は忘れず電源に接続して下さい。

8. 保守・点検

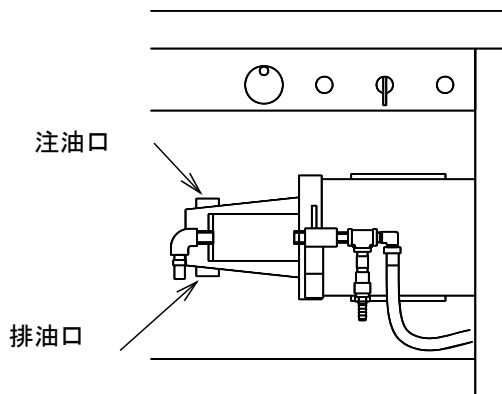
8-1. オイルの交換

オイルの交換は下記運転時間を目安に実施して下さい。

初回 …… 100時間
2回目以降 …… 500時間

- ①排油口よりオイルを抜きます。
オイル抜き後、排油口を閉めます。
- ②注油口からオイルを入れます。

オイル : エンジン用 SC級 10W-30
規定油量 : 380cc



⚠ 注意

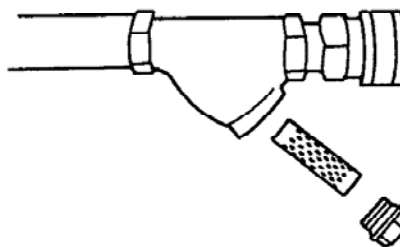
オイル量は必ず守って下さい。
オイルが多すぎるとオイル室の圧力が上がり、オイルが漏れる場合があります。
オイルが少なすぎるとポンプを破損する場合があります。

オイルの交換は水平な場所で行って下さい。傾いていると正確なオイル量が確認できません。

運転直後はポンプ及びオイルは高温になっています。オイルが冷えてから交換して下さい。

8-2 水供給ジョイントフィルターの清掃

本体給水口に接続した水供給ジョイントに
Y型ストレーナーが付いています。
3か月ごとに清掃して下さい。



8-3 水フィルターの清掃

1. 水フィルターハウジングの清掃
水フィルターのハウジングをキャップより取り外し、ハウジング内を中性洗剤などで清掃して下さい。
(1~2ヶ月毎)
2. 水フィルターカートリッジ交換
ノズルからの水の吐出圧力が不安定となりホースが振動するときは、カートリッジが目づまりし通水量が減少しています。
カートリッジを交換して下さい。
※カートリッジは清掃できません。

ハウジングの清掃またはカートリッジを交換した後は

5-1項. 本体の組立 5. 水フィルターの取付

5-3項. 水フィルターの通水

を参照し、通水して下さい。

⚠ 注意

ハウジング清掃時には、シンナー、アルコールなどは使わないで下さい。
ハウジングが破損する恐れがあります。

9. 故障かな？と思ったら

症 状	原 因	処 置
・水が出ない ・アクアキーパーが出ない	・電源が入っていない ・ポンプ用サーキットプロテクターがトリップしている ・水が供給されていない ・水供給ジョイントフィルターが詰まっている ・水フィルターカートリッジが詰まっている ・アクアキーパー給水バルブが閉じている	・電源を投入する ・サーキットプロテクタースイッチを一度オフした後に再度オンする ・水を供給する ・フィルターを清掃する ・カートリッジを交換する(有償) ・(5-4アクアキーパーキットの通水)を参照し、キットの通水を行う

10. 消耗部品について

・ポンプ部品 (アンローダ含む) ・バルブ 類 ・ホース 類 ・車 輪 類	・ノズル ・ゴム部品 ・水フィルターカートリッジ
--	--------------------------------

以上の部品は消耗部品です。
これらの部品は保証期間内であっても、保証の対象外となります。

11. 主要諸元

名 称	QW-3300		
寸 法	高 さ	2080mm	
	幅	1035mm	
	奥 行	551mm	
乾 燥 質 量	80kg		
圧 力・流 量	水	約5.0MPa	5.6 リットル/分
	アクアキーパー	約5.0MPa	5.6 リットル/分
電 源	電 圧	単相100V	50/60Hz 共用
	消 費 電 力	0.75kw	
給 水 条 件	給 水 量	8.0リットル/分以上	

12. 製品品質保証規定

このたびお買い上げいただきました「QW-3300」は、本品質保証規定記載内容に基づき保証いたします。

1 保証期間

保証期間は、納入年月日より原則として1カ年とします。

2 保証内容

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に（納入後1年以内）故障した場合は、本機をお買い求めの販売店において無償にて修理をさせていただきます。ただし、二次的に発生する損失に対する保証（例：機械停止中の営業補償、機械利用者や周辺住民との間のトラブルに関する補償等）、および次の場合に該当する故障、処置については保証いたしません。

- 1) 使用上の誤り、取扱説明書等の注意書が指示する保守点検、保管などの義務を怠ったために発生した故障および損傷。
- 2) 商品の機構に影響をおよぼす変更や改造を加え、それが原因で発生した故障および損傷。
- 3) ゴム部品、各種電球、ホース類、油脂等のあらゆる自然消耗する部品、ならびに前記部品が損傷、消耗し交換あるいは補給を要する場合。
- 4) 火災・地震・風水害、その他の天災地変に起因する故障および損傷。
- 5) 指定外の使用電源（電圧、周波数）に起因する故障および損傷。
- 6) 公害や異常水質（汚水、塩水等）の特殊な使用環境に起因する故障および損傷。
- 7) 戦争、変乱、暴動、騒じょう、もしくは労働争議に起因する故障および損傷。
- 8) 指定された純正部品を使用しなかった事に起因する故障および損傷。
- 9) 第三者の故意による機械の損傷。
- 10) 第三者による機械からの売上金の盗難に対する損失費。
- 11) 外観上の劣化。（日焼け退色等）
- 12) 日本国以外で使用された場合。
- 13) 補償請求手続きが不備の場合。（例：保証書の指示や、型式および機体番号の連絡がない場合等）
- 14) 弊社指定以外の業者および方法による設置、移設、修理等が原因で発生した故障および損傷。
- 15) 取扱説明書等に記載されている保守点検作業。
- 16) その他、弊社が保証に相当しないと判断される場合。

万が一納めた機械において、指示した性能を発揮できない恐れがあると弊社が判断した場合は、お客様のご了解の元に、故障前であっても無償にて点検・修理いたします。保証期間内に故障して無償修理を依頼されるときは、製品に添付されている保証書を提示願います。

3 お客様へ

つねに最良の状態でご使用いただき、かつ十分な保証を受けられるように、次の事項を励行して下さい。次の事項が順守されない場合、無償修理とならない場合があります。

- 1) 取扱説明書、本体貼付ラベル等の指示にしたがって正しくご使用下さい。
- 2) ご使用前にかならず運転前の点検を励行して下さい。
- 3) 補修交換部品は、正規の組付けを行って下さい。また、取扱説明書に部品の補修交換の周期の指示がある場合、この交換周期を守って下さい。
- 4) 弊社の定めた業者による定期点検を受けて下さい。（有料）

4 保証の実行可否

- 1) この保証規定は、本書に明示する保証期間で前記の条件の元に無償にて修理させていただくことを保証するものです。
- 2) 保証期間経過後に発生した故障の修理、または保証期間中であるが、前記保証規定に合致しないものについては、有償修理となり、保証による責は負いません。

5 設置（据付）および移設について

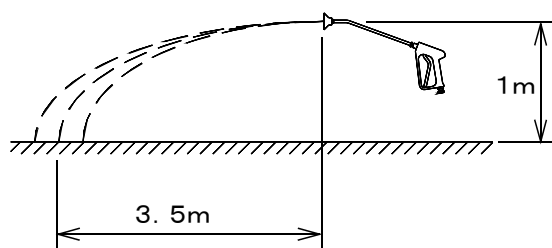
本製品の設置（据付）および移設は、お買い上げの販売店へ依頼して下さい。移設の場合は、販売店による点検を実施して下さい。

6-4. 凍結の恐れがある場合

1. オプション設定されている耐寒キットを取り付け、本体内部を保温して下さい。
(終業後も凍結の恐れがある場合は、電源を切らずに本体内部を保温して下さい。)
2. 本体内部の放水バルブを右に回し、ノズルの先端より放水させます。
(1分間に各600cc程度が適量です。)

[600ccの目安]

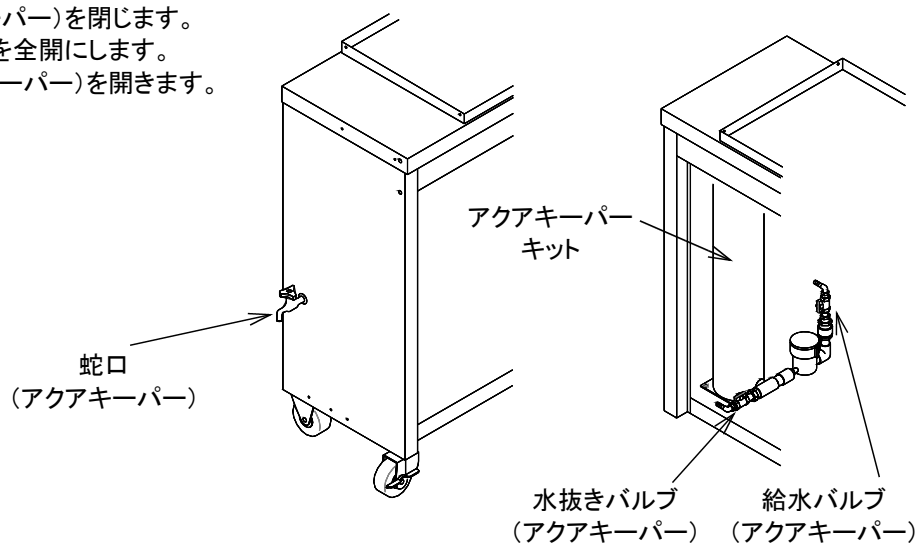
ノズルを1mの高さで水平向きにした場合、600ccの放水量では下図のような噴射となります。



3. アクアキーパーキットの水抜きをして下さい。

[水抜き要領]

- ① 給水バルブ(アクアキーパー)を閉じます。
- ② 蛇口(アクアキーパー)を全開にします。
- ③ 水抜きバルブ(アクアキーパー)を開きます。



⚠ 注意

水抜き後、アクアキーパーを使用する際は、(5-4アクアキーパーキットの通水)を参照し、キットの通水を行ってから、スイッチを操作して下さい。

7. 日常管理

7-1 始業点検

洗浄作業前に必ず始業点検を行って下さい。

1. 給水の確認
2. 周囲の清掃と安全確認
3. 電源の投入

7-2 終業時の処置

一日の営業が終わったら、電源コードをコンセントからはずして下さい。

■凍結の恐れがあるときは・・・

- ・本体を凍結の恐れのない場所に移動して下さい。
 - ・凍結の恐れのない場所への移動が困難な場合は((6-4項. 凍結の恐れがある場合))を参照し機内の凍結防止を行って下さい。
- また、その際は忘れず電源に接続して下さい。

8. 保守・点検

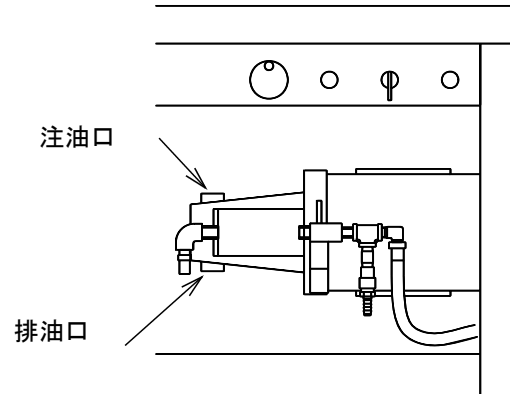
8-1. オイルの交換

オイルの交換は下記運転時間を目安に実施して下さい。

初回 …… 100時間
2回目以降 …… 500時間

- ①排油口よりオイルを抜きます。
オイル抜き後、排油口を閉めます。
- ②注油口からオイルを入れます。

オイル : エンジン用 SC級 10W-30
規定油量 : 380cc



⚠ 注意

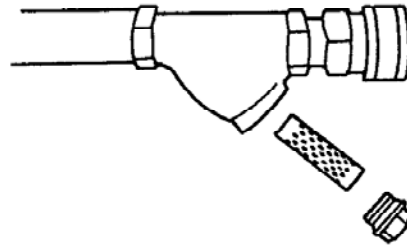
オイル量は必ず守って下さい。
オイルが多すぎるとオイル室の圧力が上がり、オイルが漏れる場合があります。
オイルが少なすぎるとポンプを破損する場合があります。

オイルの交換は水平な場所で行って下さい。傾いていると正確なオイル量が確認できません。

運転直後はポンプ及びオイルは高温になっています。オイルが冷えてから交換して下さい。

8-2 水供給ジョイントフィルターの清掃

本体給水口に接続した水供給ジョイントに
Y型ストレーナーが付いています。
3か月ごとに清掃して下さい。



8-3 水フィルターの清掃

1. 水フィルターハウジングの清掃
水フィルターのハウジングをキャップより取り外し、ハウジング内を中性洗剤などで清掃して下さい。
(1~2ヶ月毎)
2. 水フィルターカートリッジ交換
ノズルからの水の吐出圧力が不安定となりホースが振動するときは、カートリッジが目づまりし通水量が減少しています。
カートリッジを交換して下さい。
※カートリッジは清掃できません。

ハウジングの清掃またはカートリッジを交換した後は

5-1項. 本体の組立 5. 水フィルターの取付

5-3項. 水フィルターの通水

を参照し、通水して下さい。

⚠ 注意

ハウジング清掃時には、シンナー、アルコールなどは使わないで下さい。
ハウジングが破損する恐れがあります。

9. 故障かな？と思ったら

症 状	原 因	処 置
・水が出ない ・アクアキーパーが出ない	・電源が入っていない ・ポンプ用サーキットプロテクターがトリップしている ・水が供給されていない ・水供給ジョイントフィルターが詰まっている ・水フィルターカートリッジが詰まっている ・アクアキーパー給水バルブが閉じている	・電源を投入する ・サーキットプロテクタースイッチを一度オフした後に再度オンする ・水を供給する ・フィルターを清掃する ・カートリッジを交換する(有償) ・(5-4アクアキーパーキットの通水)を参照し、キットの通水を行う

10. 消耗部品について

・ポンプ部品 (アンローダ含む) ・バルブ 類 ・ホース 類 ・車 輪 類	・ノズル ・ゴム部品 ・水フィルターカートリッジ
--	--------------------------------

以上の部品は消耗部品です。
これらの部品は保証期間内であっても、保証の対象外となります。

保守・点検管理表

この管理表は必要に応じコピーして使用して下さい。

項目	時期	サイン / 日付						
水供給ジョイント フィルター清掃 (Y型ストレーナー)	3ヶ月毎							
水フィルター ハウジング清掃	2ヶ月毎							
水フィルター カートリッジ交換	通水流量 減少時							
高圧ポンプ オイル 交換	500 時間 運転毎							

(高圧ポンプ オイル交換は初回のみ 100 時間運転後)

注意!

保守・点検は取扱説明書に記載内容を遵守の上、実施して下さい。

お問い合わせは

販売店、施工業者の方へのお願い
この取扱説明書は、かならず
お客様へお渡ししてください。

発売元 **KeePer 技研株式会社**

〒474-0046 愛知県大府市吉川町4-17
TEL : 0562-45-5258

製造元 **アベテック株式会社**

〒003-0011 札幌市白石区中央1条5丁目3番7号
TEL : 011-842-3511

(c) KeePer Giken. All Rights Reserved.